

第7次中期経営計画 自己改革工程表

自己改革目標

販売品販売高 89億円

農業融資3ヵ年実行金額 720百万円

「農業者の所得増大・農業生産の拡大」の取り組み内容

テーマ1. 多様な担い手の育成・支援に向けた取り組みを実践します。

取り組み事項	項 目	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標
①T A C担当者と融資担当者の同行で、担い手農家を訪問し情報提供に取り組みます。	年間訪問実施回数	2回	2回	2回
②新規就農研修制度を創設し担い手の育成確保に取り組みます。	新規就農研修者の募集	2人	2人	5人
③就農を希望するIターンUターン者が農業が出来る体制構築に取り組みます。	受入相談担当者の設置		1人	2人
④営農指導・相談機能の強化に取り組みます。	広域営農指導員の設置		1人	3人
⑤管内農業基盤の見える化に取り組みます。	農家台帳作成進捗率	20%	60%	100%
⑥農業融資担当者の育成と、農業融資の拡大に取り組みます。	農業金融ﾌﾟﾗﾝﾅｰ資格取得	45人	50人	55人
	農業融資実行件数	110件	120件	130件

テーマ2. 農業所得向上のため、マーケットインに基づく生産振興に取り組みます。

取り組み事項	項 目		令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標
①消費者ニーズにあった生産戦略の策定に取り組みます。	紅まどんな	市場出荷量	110 t	150 t	200 t
		市場販売金額	6,000万円	8,000万円	10,000万円
	甘平	市場出荷量	250 t	300 t	350 t
		市場販売金額	15,000万円	18,000万円	20,000万円
	ブラッドオレンジ	市場出荷量	150 t	180 t	200 t
		市場販売金額	6,000万円	7,500万円	8,000万円
②生産者と消費者を結び販売拠点として直売所の取り組みを強化します。	新規イベントの開催		10回	12回	12回

「創造的自己改革の実践」

～組合員とともに農業・地域の未来を拓く～

テーマ3. 農業生産拡大のため、産地活性化と販売チャネルの拡充に取り組みます。

取り組み事項	項 目		令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標
①ブロッコリー・きゅうり・里芋の生産拡大及び新規担い手確保に取り組み、販売金額1億円に向け取り組みます。	3品目作付拡大面積及び販売金額	ブロッコリー	37ha 8,000万円	39ha 9,000万円	41ha 10,000万円
		きゅうり	4.5ha 7,500万円	5.5ha 8,000万円	5.5ha 9,000万円
		里芋	5.4ha 2,000万円	8ha 3,000万円	12ha 4,500万円
②推奨品種を中心に改植を推進し、柑橘園地の若返りに取り組みます。	改植面積		10ha	12ha	15ha
③インターネット販売の拡大に取り組みます。	柑橘販売金額		1,000万円	2,000万円	3,000万円
④高品質果実のギフト商品の開発を行い、生産増強に取り組みます。	販売高に占めるギフト商品の割合		3%	4%	5%
⑤高品質果実の生産をめざし、「根域制限栽培」や「マルドリ栽培」の実証栽培に取り組みます。	実証園地の面積		30 a	30 a	40 a

テーマ4. 食の安全安心と次世代の食農教育に取り組みます。

取り組み事項	項 目	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標
①学校への食農教育出前講座開催や体験学習等の実施に取り組みます。	開催箇所	25箇所	25箇所	25箇所
②あぐりスクールを通じた食農教育の充実、強化に取り組みます。	あぐりスクール参加人数	40人	40人	40人

テーマ5. 生産資材におけるトータルコスト低減に取り組みます。

取り組み事項	項目	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標
①営農指導員と連携した栽培指導にあわせて予約注文率の向上を図ります。	肥料・農薬予約注文率	73%	75%	78%

「地域の活性化」の取り組み内容

テーマ6. 地域のくらしを守るJA事業・活性化支援に取り組みます。

取り組み事項	項目	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標
①Aコープ商品を活用した移動購買車を運行し、地域の生活を支えます。	移動購買車巡回箇所	120箇所	125箇所	130箇所
②地域密着・地域貢献のため地域イベントへの積極的参加と地域貢献活動に取り組みます。	イベント新規参加件数	7件	7件	7件
	地域貢献活動実施回数	10回	10回	10回

平成30年度 J A えひめ南 自己改革の主な取り組み内容

I. 農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けた取り組み

1. 農家への巡回指導と声を聞く活動を行っています。

- T A C（地域農業の担い手に出向く担当者）を管内に7名配置し、巡回指導を行い、タブレット端末による技術指導や営農情報の提供を行いました。
1年間の総訪問件数は2,679件となりました。
- 柑橘については専門の指導員を10名配置し、巡回指導を行っています。
- 融資担当者と営農担当者等の同行で、農業者180先に対して訪問活動を展開しました。



2. 農業者支援に取り組みました。

- 担い手農家への技術講習会を82か所で開催し、高品質安定生産に取り組みました。
- 青色申告の普及拡大に取り組みました。
青色申告の支援をさせていただいた件数は183件となりました。
- 「農業おまかせ資金」を中心に積極的に農業融資に取り組みました。結果、年間の農業融資新規実行件数は340件で、農業融資の残高は21億円となりました。
- 新規担い手へ生產品目の提案や生産指導を行い、基幹作物部会への加入促進に取り組みました。結果、ブロッコリー17名、里芋8名、なす2名の新規加入がありました。

3. 消費者ニーズにあった生産振興に取り組みました。

- 柑橘では、消費者ニーズにあった戦略品目として「紅まどんな」「甘平」「ブラッドオレンジ」を3カ年の出荷量・販売金額目標を設定して拡大に取り組んでいます。

平成30年度実績	紅まどんな	甘平	ブラッドオレンジ
出 荷 量（t）	102	219	132
販 売 金 額（万円）	5,640	13,220	5,410

- 米については、買取販売を実施し、昨年度を1袋500円上回る価格となり、販売金額は433百万円となりました。

4. 地域特性を生かした作物の振興に取り組みました。

- 「ブロッコリー」「きゅうり」「里芋」を主要品目として販売金額各1億円を目指して生産拡大に取り組んでいます。

生産を促すための栽培提案書を作成し農業者へ提案を行うとともに平成30年度からは販売増強助成制度を設置し、苗代の半額助成を行いました。

5. 生産者と消費者を結ぶ直売所の強化に取り組みました。

- 「特産品センターみなみくん」では、イベント等を積極的に行い販売の拡大に取り組みました。

また、生産者を対象とした栽培講習会を開催し、品質向上に努めました。販売金額は6億円となりました。



6. 産地の活性化に取り組みました。

- 柑橘の推奨品種を中心に改植を推進し、園地の若返りのために、老木園6.4ha、不良系統園4.7haの合計11.1haの改植に取り組みました。
- 新たな販売先である「源吉兆庵」に対する出荷計画を策定し、新規就農者や生産者に対する品目の推進や改植による生産拡大に取り組みました。

平成30年度実績	くり	もも	びわ	かき
出荷量(t)	12.5	3.8	0.5	2.3

- インターネット販売に積極的に取り組んだ結果、販売件数は858件となりました。

7. 次世代の食農教育に取り組みました。

- アグリスクールを開校（参加者36名）し、食農教育に取り組みました。

また、管内27の小学校へ営農指導員や青年部等が出向き、さつまいも、みかんの栽培方法を説明し、植付、収穫作業等の体験学習を行いました。



8. 生産資材におけるトータルコスト低減に取り組みました。

- 生産資材のコスト低減に向け、予約注文の推進に取り組み予約注文率は63.7%となり、予約による還元額は肥料で778万円、農薬で1,506万円となりました。
- 大口予約者に対して肥料634万円、農薬428万円を還元しております。

Ⅱ. 地域の活性化支援への取り組み

1. 総合事業を通じて、地域住民が必要とする生活サービスを行っています。

- 農業関連事業（営農指導事業・農産物販売事業・生産資材購買事業など）のほか、生活関連事業（ガソリンスタンド・生活店舗・介護・葬祭など）、貯金を預かり融資を行う信用事業、「ひと・いえ・くるまの総合保障」を提供する共済事業などの総合事業を行っています。
- 買い物弱者対策として移動購買車を増車するとともに、Aコープと提携して商品の充実に取り組みました。
- 農産物消費拡大に向けた金融商品として、夏・冬2回「農産物付定期貯金」を販売し、774百万円のご利用をいただきました。



2. 地域貢献活動やイベント等に積極的に取り組んでいます。

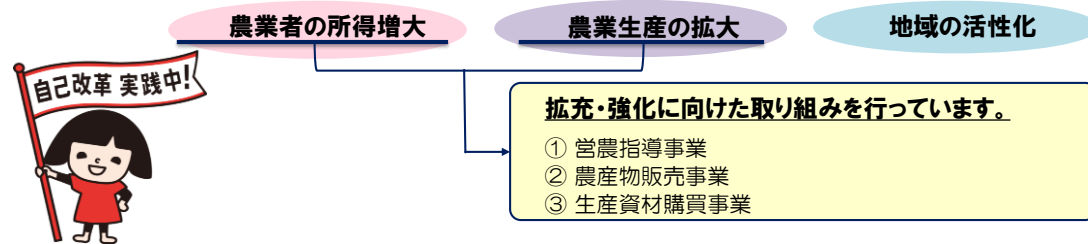
- 地域貢献活動として、交通安全教室や少年野球教室などを行いました。
- 女性部活動として、各支部で様々な活動を展開するとともに、健康フォーラム、レディフェスタ、J A えひめ南女性大学おれんじキャンパス開校、エルダー部会による楽々セミナー、老人ホームの慰問など地域を元気にする活動を行っています。
- 市街地清掃などボランティア活動に積極的に取り組んでいます。



平成30年度 自己改革の取組状況

～ 農業者の所得増大と地域の活性化に全力を尽くす ～

3つの目標を掲げ**自己改革**に取り組んでいます！



「農業者の所得増大・農業生産の拡大」の取り組み内容

テーマ1. 多様な担い手の育成・支援に向けた取り組みを実践します。

取り組み事項	項目	目標	実績	結果	具体的な取り組み内容
①TAC担当者の巡回指導による担い手への技術指導及び情報提供に取り組めます。	TAC一人当りの担い手へ月に訪問する件数	60件	47件	○	技術指導と営農情報の提供を行った。
②ブロックリー・きゅうり・里芋の生産拡大及び新規担い手確保に取り組めます。	3品目作付拡大面積・新規担い手数	ブロックリー	180a 6人	577a 36人	◎
		きゅうり	40a 4人	19a 5人	○
		里芋	150a 5人	68a 5名	○
③担い手への専門的な技術講習会等を開催し、高品質安定生産に取り組めます。	技術講習会開催箇所	80箇所	82箇所	◎	花芽管理、新梢管理、粗摘果、仕上げ摘果の講習会を開催した。
④農機具等リース応援事業、新規就農応援事業等の活用による担い手支援に取り組めます。	農機具リース事業件数	5件	13件	◎	各生産部会・TAC会議および融資担当者等で説明・周知し、広報誌・チラシ等で農業者へのPRを行った。
	新規就農応援事業件数	28件	28件	◎	
⑤担い手への積極的な農業融資に対応します。	農業融資実行件数	110件	340件	◎	西日本豪雨被災農家および担い手を中心に訪問活動を行った。
⑥農業融資担当者の育成・拡大に取り組めます。	農業金融ブリーダー資格取得	40人	37人	○	信用部署および営農部署職員を中心に、資格取得に向けた研修会を実施し、積極的に受験を促した。
	農業経営アドバイザー資格取得	13人	13人	◎	
⑦収入保険制度の創設等に向けた青色申告の普及拡大に取り組めます。	青色申告者数	183人	183人	◎	吉田地区を中心に青色研究会で決算書作成の指導を行った。

テーマ2. 農業所得向上のため、マーケットインに基づく生産振興に取り組めます。

取り組み事項	項 目		目標	実績	結果	具体的な取り組み内容
①消費者ニーズにあった生産戦略の策定に取り組めます。	紅まどな	市場出荷量	100t	102t	○	販売状況に合わせた計画出荷をすることが出来た。
		市場販売金額	6,500万円	5,640万円	△	施設紅まどなは順調な販売であったが、露地紅まどなについてはクラッキング等の影響により傷み果が多く発生し、有利販売に繋がらな
	甘平	市場出荷量	330t	219t	△	市場出荷は計画数量を大きく下回る結果となった。
		市場販売金額	16,500万円	13,220万円	○	数量減ではあったが、高価格で販売できたことから目標対比80%の実績であった。
	ブラッドオレンジ	市場出荷量	150t	132t	○	小玉果比率が多かったことから目標値を下回る出荷量となった。
		市場販売金額	6,000万円	5,410万円	○	出荷数量減に伴い、販売金額も目標値を下回る結果となった。
※ブラッドオレンジ実績 平成31年4月16日現在						
②生産者と消費者を結び販売拠点として直売所の取り組みを強化します。	直売所販売高		7.2億	6.15億	○	販売拡大に向けた情報発信や取扱い品目の栽培講習会を開催した。
③地域特性を活かした作物の振興に取り組めます。	米の販売高		4.1億	4.3億	◎	買取価格の上昇と計画通りの集荷により達成。
	園芸の販売高		4.5億	3.2億	△	3品目以外において各部会により新規担い手確保と面積の増反に取り組んだ。

※ 結果欄 = ◎ 計画以上 ・ ○ 概ね計画通り ・ △ 取り組みが遅れている

平成29年度 自己改革工程表

平成28年度自己改革の取り組みを踏まえ、下記のとおり自己改革工程表を変更する。

農業者所得の増大・農業生産の拡大	多様な担い手の育成・支援に向けた取り組みを実施します。		項目	平成28年度実績	平成29年度目標	平成30年度目標
	①TAC担当者の巡回指導による担い手への技術指導及び情報提供に取り組みます。	担い手へ月に訪問する回数 TAC一人当りの担い手へ月に訪問する件数	2回	55件	60件	
	②担い手の基幹作物部会への加入促進に取り組みます。	新規加入人数	14名	4名	5名	
	③担い手への専門的な技術講習会等を開催します。	技術講習会開催場所	83箇所	70箇所	80箇所	
	③担い手への専門的な技術講習会等を開催し、高品質安定生産に取り組みます。					
	④農機具等リース応援事業、新規就農応援事業等の活用による担い手支援に取り組みます。	農機具リース事業件数	—	10件	5件	
		新規就農応援事業件数	—	5件	5件	
	⑤担い手への積極的な農業融資に対応します。	農業融資実行件数	97件	100件	100件	
	⑥農業融資担当者の育成・拡大に取り組みます。	農業金融プランナー資格取得	18名	25名	30名	
		農業経営アドバイザー資格取得	9名	11名	13名	
	⑦収入保険制度の創設等に向けた青色申告の普及拡大に取り組みます。	青色申告者数	168名	178名	183名	
	農業所得向上のため、マーケットインに基づく生産振興に取り組みます。		項目	平成28年度実績	平成29年度目標	平成30年度目標
	①消費者ニーズにあった生産戦略の策定に取り組みます。	紅まどんな	市場出荷量	69t	85t	100t
			市場販売金額	4,933万円	5,780万円	6,500万円
		甘平	市場出荷量	179t	280t	330t
			市場販売金額	11,299万円	14,840万円	16,500万円
※平成29年5月8日現在 ブラッドオレンジ		市場出荷量	※125t	180t	200t	
		市場販売金額	※6,349万円	7,920万円	8,800万円	
②直売所での試食宣伝、即売会及びイベント等を開催します。	イベント等開催数	3回	3回	3回		
②生産者と消費者を結ぶ販売拠点として直売所の取り組みを強化します。	直売所販売高	6.78億円	7億円	7.2億円		
③地域特性を活かした作物の振興に取り組みます。	米の販売高	3.6億	3.3億	3.3億		
	園芸の販売高	3.0億	3.7億	4.5億		
農業生産拡大のため、産地活性化と販売チャネルの拡充に取り組みます。		項目	平成28年度実績	平成29年度目標	平成30年度目標	
①推奨品種を中心に改糖を推進し、柑橘園地の若返りに取り組みます。	改糖面積数値	9.9ha	15ha	22ha		
②新たな販売先として、源吉兆庵に対する販売計画の実践に取り組みます。	くり	出荷量	24.5t	28t	32t	
	もも	出荷量	—	3.3t	11.6t	
	びわ	出荷量	0.6t	0.5t	3.5t	
③インターネット販売に取り組みます。	取扱件数	829件	900件	1,000件		
食の安全安心と次世代の食農教育に取り組みます。		項目	平成28年度実績	平成29年度目標	平成30年度目標	
①学校への食農教育出前講座開催や体験学習等の実施に取り組みます。	開催箇所	8校	3校	4校		
②食の安全安心への取り組みとして、生産履歴記帳台帳の整備を行います。	生産履歴記帳台帳の回収率	100%	100%	100%		
生産資材におけるトータルコスト低減に取り組みます。		項目	平成28年度実績	平成29年度目標	平成30年度目標	
①営農指導員と連携した栽培指導にあわせて予約注文率の向上を図ります。	生産資材予約注文率	50.60%	55%	60%		
地域活性化の	地域のくらしを守るJA事業・活性化支援に取り組みます。		項目	平成28年度実績	平成29年度目標	平成30年度目標
	①農畜産物消費拡大や地域振興に結びつく、金融商品の企画販売に取り組みます。	金融商品の開発件数	2件	1件	1件	
	②移動購買車の導入により、地域の生活を支援します。	移動購買車保有台数	3台	4台	4台	

網掛け、線引き部分が変更箇所

平成30年度 自己改革工程表

平成29年度自己改革の取り組みを踏まえ、下記のとおり自己改革工程表を変更する。

農業者の所得増大・農業生産の拡大	多様な担い手の育成・支援に向けた取り組みを実施します。		項目	平成29年度実績	平成30年度目標
	①TAC担当者の巡回指導による担い手への技術指導及び情報提供に取り組みます。	TAC一人当りの担い手へ月に訪問する件数		45件	60件
	②ブロックリー・きゅうり・里芋の生産拡大及び新規担い手確保に取り組みます。	3品目作付拡大面積・新規担い手数	ブロックリー		180a 6人
			きゅうり		40a 4人
			里芋		150a 5人
	②担い手の基幹作物部会への加入促進に取り組みます。	新規加入人数		10名	5名
	③担い手への専門的な技術講習会等を開催し、高品質安定生産に取り組みます。	技術講習会開催箇所		83箇所	80箇所
	④農機具等リース応援事業、新規就農応援事業等の活用による担い手支援に取り組みます。	農機具リース事業件数		2件	5件
		新規就農応援事業件数		37件	28件
	⑤担い手への積極的な農業融資に対応します。	農業融資実行件数		141件	110件
	⑥農業融資担当者の育成・拡大に取り組みます。	農業金融アドバイザー資格取得		29人	40人
		農業経営アドバイザー資格取得		10人	13人
	⑦収入保険制度の創設等に向けた青色申告の普及拡大に取り組みます。	青色申告者数		172人	183人
農業所得向上のため、マーケットインに基づく生産振興に取り組みます。			項目	平成29年度実績	平成30年度目標
①消費者ニーズにあった生産戦略の策定に取り組みます。	紅まどんな	市場出荷量	76t	100t	
		市場販売金額	5,202万円	6,500万円	
		甘平	市場出荷量	204t	330t
			市場販売金額	12,568万円	16,500万円
		ブラッドオレンジ	市場出荷量	※44t	150t
			市場販売金額	※2,096万円	6,000万円
	※平成30年4月23日現在				
	②生産者と消費者を結ぶ販売拠点として直売所の取り組みを強化します。	直売所販売高		6.7億	7.2億
③地域特性を活かした作物の振興に取り組みます。	米の販売高		4.1億	4.1億	
	園芸の販売高		2.9億	4.5億	
農業生産拡大のため、産地活性化と販売チャネルの拡充に取り組みます。			項目	平成29年度実績	平成30年度目標
①推奨品種を中心に改植を推進し、柑橘園地の若返りに取り組みます。	改植面積数値		17.3ha	22ha	
②新たな販売先として、源吉兆庵に対する販売計画の実践に取り組みます。	くり	出荷量	24t	32t	
	もも	出荷量	1.8t	11.6t	
	びわ	出荷量	0.7t	3.5t	
	かき	出荷量		5t	
③インターネット販売に取り組みます。	取扱件数		1,141件	1,000件	
食の安全安心と次世代の食農教育に取り組みます。			項目	平成29年度実績	平成30年度目標
①学校への食農教育出前講座開催や体験学習等の実施に取り組みます。	開催箇所		18箇所	20箇所	
②食の安全安心への取り組みとして、生産履歴記帳台帳の整備を行います。	生産履歴記帳台帳の回収率		100%	100%	
③あぐりスクールを通じた食農教育の充実、強化に取り組みます。	あぐりスクール参加人数		28人	35人	
生産資材におけるトータルコスト低減に取り組みます。			項目	平成29年度実績	平成30年度目標
①営農指導員と連携した栽培指導にあわせて予約注文率の向上を図ります。	生産資材予約注文率		64.50%	65%	
②物流コースの見直しと拠点在庫の集約による、物流コストの削減に取り組みます。	削減率前年比			20%	
地域のくらしを守るJA事業・活性化支援に取り組みます。			項目	平成29年度実績	平成30年度目標
①農畜産物消費拡大や地域振興に結びつく、金融商品の企画販売に取り組みます。	金融商品の開発件数		2件	1件	
②移動購買車の運行により、地域の生活を支えます。	移動購買車巡回箇所		84箇所	100箇所	
③地域密着・地域貢献のため地域イベントへの積極的参加と地域貢献活動に取り組みます。	イベント新規参加件数			7件	
	地域貢献活動実施回数		8回	10回	

網掛け、線引き部分が変更箇所

平成29年度 JAえひめ南 自己改革の主な取り組み内容



I. 農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けた取り組み

1. 農家への巡回指導と声を聞く活動を行っています。

●TAC（地域農業の担い手に出向く担当者）を管内に6名配置し、巡回指導を行い、タブレット端末による技術指導や営農情報の提供を行いました。

1年間の総訪問件数は3,240件となりました。

●柑橘については専門の指導員を10名配置し、巡回指導を行っています。

●融資担当者と営農担当者等の同行で、農業者176先に対して訪問活動を展開しました。

●平成29年度には、新たに「組織ふれあい推進室」3名を設置し、認定農業者252先の訪問を行いました。様々なご意見や要望をお聞きし、事業に反映するよう取り組んでいます。



2. 農業者支援に取り組みました。

●担い手農家への専門的な技術講習会を83か所で開催し、高品質安定生産に取り組みました。

●生産者の経営管理体制改革のため、青色申告の勉強会を3回開催いたしました。青色申告の支援をさせていただいた件数は172件となりました。

●「農業おまかせ資金」を中心に積極的に農業融資に取り組みました。結果、年間の農業融資新規実行件数は141件で、農業融資の残高は14億円となりました。

●新規担い手へ生産品目の提案や生産指導を行い、基幹作物部会への加入促進に取り組みました。結果、ブロッコリー6名、里芋3名、なす1名の新規加入がありました。



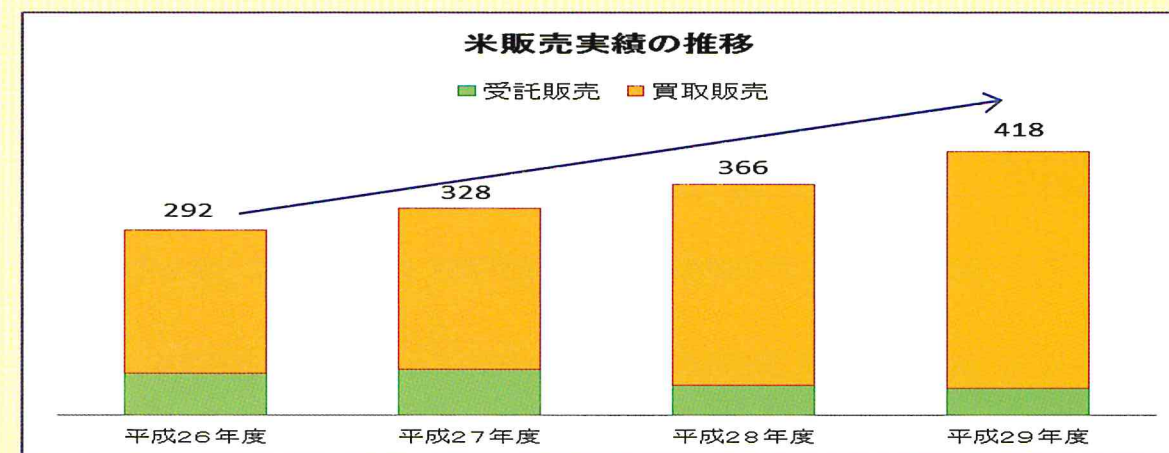
3. 消費者ニーズにあった生産振興に取り組みました。

●柑橘では、消費者ニーズにあった戦略品目として「紅まどんな」「甘平」「ブラッドオレンジ」を3カ年の出荷量・販売金額目標を設定して拡大に取り組んでいます。

		H27年度	H28年度	H29年度
紅まどんな	出荷量 (t)	30	69	76
	販売金額 (万円)	2,052	4,933	5,202
甘平	出荷量 (t)	168	179	204
	販売金額 (万円)	11,291	11,299	12,568
ブラッドオレンジ	出荷量 (t)	73	177	61
	販売金額 (万円)	4,300	8,425	2,838

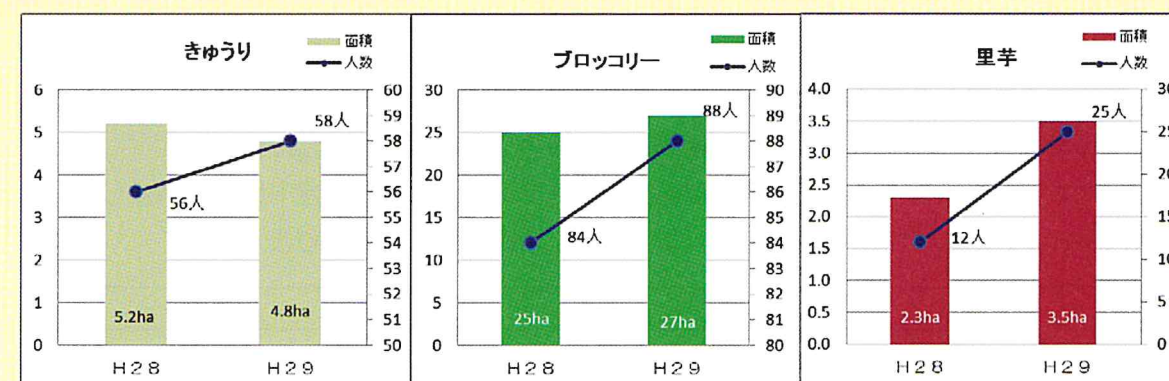
※ ブラッドオレンジは寒波等の影響で減少しました。

●米については、買取販売を実施し、昨年度を1袋600円上回る価格となりました。



4. 地域特性を生かした作物の振興に取り組みました。

●「ブロッコリー」「きゅうり」「里芋」を主要品目として生産拡大に取り組んでいます。生産を促す栽培提案書を作成し農業者へ提案を行うとともに平成30年度からは新たな助成制度も確立しました。



5. 生産者と消費者を結ぶ直売所の強化に取り組みました。

●「特産品センターみなみくん」では、陳列棚の改装やイベントを積極的に行い販売の拡大に取り組みました。また、生産者を対象とした栽培講習会を開催し、品質向上に努めました。販売金額は6.7億円となりました。



6. 産地の活性化に取り組みました。

●柑橘の推奨品種を中心に改植を推進し、園地の若返りのために、老木園4.2ha、不良系統園3.2haの合計7.4haの改植に取り組みました。

●新たな販売先である「源吉兆庵」に対する出荷計画を策定し、新規就農者や生産者に対する品目の推進や改植による生産拡大に取り組みました。

		H27年度	H28年度	H29年度
くり	出荷量 (t)	24.4	24.5	24
もも		—	—	1.8
びわ		0.7	0.6	0.7

●インターネット販売に積極的に取り組んだ結果、販売件数は 1,141 件となりました。

●また、平成30年度よりJAえひめ南のホームページもリニューアルしております。

7. 次世代の食農教育に取り組みました。

●アグリスクールを開校（参加者28名）し、食農教育に取り組みました。また、管内18の小学校へ営農指導員や青年部等が出向き、さつまいも、水稻、みかん類の栽培方法を説明し、植付、収穫作業等の体験学習を行いました。



8. 生産資材におけるトータルコスト低減に取り組みました。

- 生産資材のコスト低減に向け、予約注文の推進に取り組み予約注文率は64.5%となり、予約による還元額は肥料で735万円、農薬で1,582万円となりました。
- 高度化成肥料（水稻・園芸）の品目集約を行い22.1%の価格引き下げを行いました。
- 大口予約者に対して肥料676万円、農薬411万円を還元しております。

【参考：各種支援事業等の内容】

- 全農愛媛県本部の「農業者所得増大チャレンジ事業」（担い手支援対策や労働力支援体制整備対策等のための経費を助成するもの）に取り組み37名に164万円の助成を行いました。
- JAバンクの「新規就農応援事業」（3年目までの新規就農者に対して20万円までの経費を助成するもの）に取り組み37件の取扱いがありました。
- JAバンクえひめの「親元就農応援事業」（親元就農を支援するため、経費の一部を10万円までを助成するもの）に取り組み3件の取扱いがありました。
- JAバンクえひめの「果樹リース応援事業」（農機具等にかかるリース料の一部を助成するもの）に取り組み2件の取扱いがありました。
- 各種生産部会等の育成支援のため約768万円の助成を行っています。
- 農業団体等への組織育成費・分担金等として約3,500万円を負担しています。

Ⅱ. 地域の活性化支援への取り組み

1. 総合事業を通じて、地域住民が必要とする生活サービスを行っています。

●農業関連事業（営農指導事業・農産物販売事業・生産資材購買事業など）のほか、生活関連事業（ガソリンスタンド・生活店舗・介護・葬祭など）、貯金を預かり融資を行う信用事業、「ひと・いえ・くるまの総合保障」を提供する共済事業などの総合事業を行っています。

●また、買い物弱者対策として移動購買車を増車するとともに、Aコープと提携して商品の充実に取り組みしました。



●農産物消費拡大に向けた金融商品として、「農産物付定期貯金」の販売を行いました。



2. 地域貢献活動やイベント等に積極的に取り組んでいます。

●多機能基幹支所単位でJAまつりを開催し、組合員はもとより准組合員や地域住民との繋がりを深め、食と農の理解促進に取り組んでいます。また、地域貢献活動として、交通安全教室や少年野球教室などを行いました。

●地域のまつり行事やボランティア活動などの行事に積極的に参加しています。



「農業者の所得増大・農業生産の拡大・地域の活性化」を実現するため、組合員の皆様方からの積極的なご意見をお願いします。

お問い合わせ先

えひめ南農業協同組合 企画管理部 総合企画課

電話番号：0895-22-8111

E-mail：kikaku@ja-eminami.or.jp

